

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進
担当	建設局下水道河川部下水道計画課 佐々木 818-3441			
全体計画				
事業内容	道路の舗装や建物の面積が増え、雨水のほとんどが地面にしみ込まず、下水道管に流れ込み、浸水が起こりやすい状況となっている。 このため、浸水の防除及び水とみどりのうるおいのあるまちづくりを目指し、市民、企業、行政の協働により、地域全体で雨水を適切に地中へしみ込ませる取り組みを進める。		<年度別の事業内容>	
			19年度	他都市事例調査 雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握
			20年度	新たな開発における雨水流出抑制量の設定 雨水流出抑制の技術基準(案)策定
			21年度	雨水流出抑制の制度内容の検討
			22年度	雨水流出抑制に関する要綱、技術基準の策定
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	○他都市事例調査 ・他都市事例の比較検討 ○雨水流出抑制に関する情報提供と意向把握 ・下水道パネル展による情報提供 ・下水道モニター制度による情報提供と意向把握		○新たな開発における雨水流出抑制量の設定 ○雨水流出抑制技術基準(案)策定 ・雨水の貯留・浸透施設に関する設計等の指針(案)	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	雨水流出抑制の制度内容の検討 ・雨水流出抑制実施要綱(案)策定		雨水流出抑制に関する要綱、技術基準の策定 ・市営企業調査審議会での審議 ・ホームページによる市民・企業への情報提供	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
雨水流出抑制に関する要綱等の策定			-	他都市事例 調査	技術基準 (案)策定	制度内容の 検討	要綱等策定	策定
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 下水道事業のパンフレットの配布、下水道パネル展等により下水道事業のPR及び市民の理解の促進を図る中で、協働による雨水流出抑制についても公表している。また、下水道モニター制度により市民意見の収集、情報の共有化を図っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>								
評 価 ( 成 果 )				課 題				
<p>雨水流出抑制実施要綱(案)を策定し、雨水の流出量が多い大規模施設の考え方、雨水流出抑制の対象となる行為、雨水の貯留・浸透に関する手法について整理するなど、予定どおり検討を進めている。</p>				<p>雨水流出抑制は、より多くの施設で実施されることにより効果が高まることから、市民、企業が取り組みやすい制度内容とすることや、分かりやすく情報を提供していくことが必要である。</p>				
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向								
<p>雨水流出抑制実施要綱および技術基準について平成22年度に策定するとともに、パンフレットやホームページ等を活用した情報提供を進め、平成23年度での制度化を目指す。</p>								

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-1-3		事業名	協働による雨水浸透の推進		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳						
	国・道支出金						
	市の債						
予算	事業費	0	0	0	0	0	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
実績	事業費	0	0	0	-	0	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							
[22年度]							